

平成30年11月30日

三次市長 増田和俊様

三次市行政チェック市民会議

会長 森邊成一



地方創生交付金事業の効果検証について

当市民会議は、平成30年11月9日に会議を開き、三次市が平成29年度に実施した地方創生交付金事業の効果検証に係る外部評価を行いました。

評価結果については添付のとおりです。

〈三次市行政チェック市民会議〉

会長	森	邊	成	一
副会長	佐	藤	明	寛
委員	山	田	知	子
委員	渡	邊	な	おみ
委員	有	田	雅	俊
委員	丸	山	英	彰
委員	細	美	昌	信
委員	詰	丸	真	由美
委員	太	田	寿	子

(順不同)

行政チェック市民会議の評価結果

No.	事業名	事業の評価	評価理由
1	オール三次観光まちづくり推進事業	有効であった	<p>重要業績評価指標（KPI）の2項目が目標値を達成しており、事業としては有効であったといえる。</p> <p>《附帯意見》</p> <p>観光情報の発信回数など、事業実績は減、または横ばいであるにもかかわらず、総観光客数が増加していることから、最終的な目標達成に対する各事業の寄与については、因果関係が不明確とも言える。このため、施策の効果と目標値の設定について、検討が必要と認められる。</p> <p>また、三次版DMOについては、設置が遅れ、組織としての整備段階ではあるが、将来、自主自立化に向けて取組が求められる。</p> <p>広島空港連絡バスについては、乗車率の向上に向け、時間帯、ルート、停留所、三次市外への広報等、さらなる改善策を図りたい。</p>
2	「新三次“藩”物語」プロジェクトによるにぎわい再生事業	有効であった	<p>重要業績評価指標（KPI）の1項目（ワークショップ等への参加者数）が目標値を達成し、もう1項目（商店街近隣での起業等の件数）についても、目標値には達していないが、5件の起業が実現しており、事業としては有効であると認められる。</p> <p>《附帯意見》</p> <p>ワークショップ等への参加が起業等に結びついていることは評価に値する。この取組等を情報発信することにより、さらなる事業効果の向上に取り組まれない。</p>

No.	事業名	事業の評価	評価理由
3	川とのふれあい事業（江の川カヌー公園さくぎ入浴施設整備事業）	有効であった	<p>重要業績評価指標（KPI）の1項目（域内消費額増加額）が目標値を達成しており、事業としては有効であると認められる。</p> <p>《附帯意見》</p> <p>平成30年4月の施設開業後については、域内消費額増加分の達成率が低い状況にあり、今後、営業日数の検討や、モニターツアー、商品開発等の相乗効果により施設利用者を増やし、さらなる域内消費額の増加に取り組まれない。ただし、入浴施設の運営にあたっては、燃料費や人件費等のコストにも留意する必要がある。</p>